



▶報道機関に予算案を説明しました

2月10日に、令和4年度の市の予算案概要を、市議会や報道機関に説明しました。2年もの間、コロナ対策の経費で、国も地方も予算が膨張し、収支は著しい不均衡の状態にあります。財政規律の考え方に「入るを

こんにちは!!
市長です

Vol.52

「予算編成」

計って、出するを制す」という表現がよく使われます。税収入を基本として、収支の均衡を考えるという意味です。しかし、実際は税に加えて国からの補助金、交付金、また、借金を含めて収入を見込むため、財政規律の維持が緩くなります。

国は借金をして、多額の補助金や交付金を地方に支出しますが、これも元は国民の借金です。コロナ対策のように一時的に多額の予算を確保することはやむを得ませんが、常態的に収支不均衡を続けることは、将来世代のために避けなければなりません。たくさんさんの要望や課題がある中で、当面のこと、将来のことをいろいろと考え、迷いながら予算編成を行いました。そしてまとめた今年の予算案を「新時代活力創出予算」と名付けました。コロナで苦しめられている今を乗り切り、安心して暮らせる元気な渋川市を創りたいという思いを込めています。

予算は、お金の見積りであり計画です。どういう予算を編成したかよりも、生きたお金をどう使うかが大事です。市民の皆さんからお預かりしている大切なお金を無駄遣いせず、賢く使ってまいります。

国は借金をして、多額の補助金や交付金を地方に支出しますが、これも元は国民の借金です。コロナ対策のように一時的に多額の予算を確保することはやむを得ませんが、常態的に収支不均衡を続けることは、将来世代のために避けなければなりません。たくさんさんの要望や課題がある中で、当面のこと、将来のことをいろいろと考え、迷いながら予算編成を行いました。そしてまとめた今年の予算案を「新時代活力創出予算」と名付けました。コロナで苦しめられている今を乗り切り、安心して暮らせる元気な渋川市を創りたいという思いを込めています。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎3215)

美術の小窓



《風の音II》

柏原花子作
2017年

高さ:57cm 素材:ブロンズ

風は、感じるものですが、木々を揺らし、谷間を抜け、音を奏でることがあります。風を愉しみ、その音に耳をかたむけている様子を愛らしい3人の子どものとともに表現した作品です。現在開催中の「常設特別展」で、紹介しています。

●移転と臨時休館のお知らせ

市美術館は、3月31日(木)をもって現在の場所での開館業務を終了し、市役所第二庁舎の1階西側部分へ移転します。美術館として活用するための改修工事に伴い、1年間の臨時休館となります。

●イベントカレンダー

会場	展示内容	期日	観覧料
常設展示室	常設特別展 桑原巨守と教え子たち	~3月31日(木)	200円

■開館時間 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)
※観覧料は、65歳以上・中学生以下は無料

●3月の休館日 1日(火)、8日(火)、15日(火)、22日(火)、29日(火)

川島地内の新幹線橋脚脇、吾妻川沿いにある「金島の浅間石」は1783(天明3)年の泥流によって流れてきた巨岩であり、災害のすさまじさを物語っています。

その浅間石の近くにある川島久保内・馬場遺跡では、上野国四ノ宮の甲波宿禰神社跡が発見されました。社殿は泥流で流され、基礎だけが残っていました。南側の拝殿は礎石建ちで幅6mほどの建物でした。奥にある本殿がのっていた基壇は一辺2m前後と小さいですが、当時としては一般的な大きさでした。災害から2年後、甲波宿禰神社は吾妻川から離れた高台にある現在地に再建されました。

浅間山大噴火による大量の火山灰は異常気象を生み、間もなく天明の大飢饉を引き起こします。西洋でフランス革命が始まる直前のことでした。



甲波宿禰神社跡。右が本殿、左が拝殿

※このコーナーは今回で終了します

古を訪ねて

48

流された甲波宿禰神社